

令和7年度 横浜市幼保小連携推進地区事業

子どもの育ちと学びをつなぐ
持続可能な連携

瀬戸ヶ谷地区1年目
仲よし幼稚園
瀬戸ヶ谷小学校

推進テーマ設定の理由

- お互いの教育活動を知ること、子どもたちが、幼稚園・保育園での学びを活かし、小学校でも安心して自己発揮できるようにし、子どもたちのスムーズな接続と安心につなげたいと考えました。

推進内容

- 入学した子どもたちが、小学校は安心して自己発揮できる場所であると感じるために、幼稚園での経験や育ちを知り、小学校への学びにつなげていきます。
- まずは、1年目なので、相互理解を深めます。
- 子どもの継続的な交流活動を進めます。

今年度の重点課題

「お互いを知ってつながろう」

- 幼稚園と小学校の職員どうしの関係づくり
- 幼稚園と小学校の教育内容の相互理解
- 子どもの思いをもとにした交流活動の積み重ね

4月 幼稚園の先生による手遊び歌など

1年生のスタートカリキュラムの一環として、
仲よし幼稚園の先生が1年生に手遊び歌などをしてくれました。



推進委員会

幼稚園と小学校の推進委員が集まり、あらかじめ共通理解を進めながら、事業を推進しました。

4月28日	テーマの確認、年間計画、7月までの交流計画
7月22日	9月以降の交流計画、予算
1月8日	2月の交流会の計画、年間の振り返りと活動報告の内容検討



5月16日 第1回交流 @幼稚園

1年生が幼稚園に招かれ、園庭で園児と鬼ごっこや遊具遊びをしました。



この遊具はね、ここからのぼるんだよ。



いっしょにおにごっこ楽しいな。

今度は小学校にきてほしいな。

6月6日 第2回交流① @小学校

1年生が、何をしたら園児が楽しいか、何をしたらなかよくなれるかを考えて、クラスで遊びを企画し、小学校に招待しました。体育館と教室で遊びました。



折り紙、塗り絵、お絵描き、何がやりたい？



5×5おにごっこ
っていうんだよ。

来る前は、幼稚園生に教えられるか
どきどきしたけど、
幼稚園生はかわいくて、今日が
小学校で一番楽しい日だった！

6月6日 第2回交流② @小学校

最後に園児が帰るのが悲しくて、1年生は自分たちで考えて、お別れのトンネルを作りました。園バスが発車するまで見送りました。



7月22日 合同研修 @小学校

こども青少年局幼保小連携担当指導員を講師として招いて行いました。
まず、幼稚園と小学校1年生担任から、どのような活動を行っているか報告をしました。



7月22日 合同研修 @小学校

アイスクリーム屋さんごっこでは、子ども同士の関わりを通して、順番や待つことを経験しています。

また、つるつる泥団子作りでは、試行錯誤を繰り返す過程で協働したり調べたりしています。



生活科の水遊びでは、まず幼稚園・保育園でどうしていたか聞いてから、どうやりたいか作戦をたてます。ふりかえりでは、友だち同士見せ合い、伝え合って、次にどうしたいか、めあてをもって次に進めるようにしています。

国語の学習では、ゴールまでの見通しをもてるようにしています。ゴール(音読劇、クイズ大会)に向かう過程で教師が子どもにフィードバックを行い、学びの自覚化を促しています。



7月22日 合同研修 @小学校

講師の先生から子ども観についてのお話を伺った後、幼稚園・小学校双方の先生のいるグループで、「夢中」「困り感」などのテーマについて、架け橋カリキュラムデザインシートを使って、今の子どもたちの様子はどうか、それは幼稚園から小学校にどのようなにつながっているかについて、グループワークをしました。講師の先生からも、「教師がきっかけを作ることによって子ども自身が自分のやりたいことを見つけることができる。教師が何でもはやらない。幼稚園と小学校がお互いに授業や子どもたちの様子を見合うことで接続期が見えてくる。」など、教えていただきました。

今まで一年生の先生としか話したことがなかったので、高学年の先生から高学年の子どもたちのことも聞けて良かった。



一年生の担任でないと、幼稚園の先生と話す機会もなかったので、幼稚園での教育活動を聞ける機会になって良かった。



10月7日 第3回交流 @小学校

1年生が企画して、なかよくなったペアにプレゼントをわたし、教室で遊び、学校(給食室、図書室、音楽室)を案内しました。



小学校ってこんなたくさんの本がある部屋があるんだ。

図書室はね、ピットして本を借りるんだよ。



ここで給食をつくってて、ぼくらは食缶を返しに来るんだよ。

給食が楽しみになってきた！

12月11日 第4回交流 @幼稚園

園児が、ペアグループでどうしたらなかよくなれるか考えて、遊びを企画してくれました。ホールと教室で遊びました。

グループでクイズに答えよう

グループの友達と答えを考えるの、楽しいな。



グループの子と協力だ！



1年目の取組の成果

- 幼稚園の職員と小学校の職員が密に連絡を取り合い、研修では、全職員を対象に行い、グループの中で幼稚園の職員と小学校の職員が交流できるようにしたので、年長や1年生の担任以外の関係づくりも進みました。
- それぞれの教育内容を伝え合ったり、グループワークの中で情報交換を行ったりしたことで、教育の相互理解が進みました。
- 1年生は、交流内容を企画し、園児との関わりを通して、4月に入学する園児に親しみを感じ、優しく接しようという気持ちを育めました。また、自身の成長を感じられる機会となりました。
- 園児は、小学校の場所を案内してもらったり、体験したり、小学生と遊んだりすることを通して、入学に対する不安が減り、入学が楽しみになりました。特にグループで活動を行い、写真も交換して互いに見れるようにしたことにより、顔の見える交流となり、安心感が増しました。
- 園児が、1年生のように、自分たちも会を企画しようという気持ちを持ち、主体的に遊びを考えることができました。

1年目の取組の課題

- 職員の関係づくりを、継続し、広げていけるとよいと考えます。
- 教育の相互理解は進みましたが、更に広げていけるとよいと考えます。
- 子どもたちは、徐々に顔を覚え合う仲となりましたが、まだ個人により差がある状況です。
- 小学校・幼稚園間で子どもの実態把握にズレがあり、1年生の企画に変更が生じることがありました。
- 本年度の課題を踏まえ、次年度は、よりよい取り組みとなれるよう、スタートカリキュラムの充実を図っていきます。